

学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立浜玉中学校
授業者	村山笑美子、峰 真二、五十嵐梨紗、池田徳子、吉永啓亮、平方章弘、木下真智子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

浜玉中学校区小中連携ボランティア清掃活動、マイクロプラスチックに関する講義

1-2. 学年

1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、特別活動

1-4. 単元の概要

本単元の取り組むテーマを「学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び続ける児童・生徒の育成 ～学校・家庭・地域の連携ならびに小中連携を通して～」と設定し、児童・生徒のつながりを深め、地域と共に育てていく小中連携教育活動を目指し、これからも実践を行う。

このことから、わがふるさとに誇りを持ち、「生きる力」を持った子どもの育成につながり、特色ある学校・地域づくりができるのではないかと考えている。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

小中による児童・生徒の交流活動、地域活動への参加交流などを通して、思いやりや地域を愛する心を育て、中学入学時の不安解消や、地域が一体となって子どもを育てる地域環境の整備に、一層の成果を上げていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

本校区内小学校と連携をとりながら、これまでの歩みを基盤に地域連携や小中一貫教育に目を向け、地域の自然や人材を活用し、確かな学力や豊かな心、郷土を愛する心を持つ生徒を育成したいと考える。

1-7. 単元の展開（全7時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	○虹の松原清掃活動 (令和4年9月15日)	○地域の方々や児童・生徒との活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。
2	○海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する講義及び体験活動 (令和4年9月26日)	○地域人材を講師や支援者として学校に招き、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。 (外部講師) NPO 法人唐津ファームアンドフード 木下 翔太 氏、小嶋 宏明 氏
1	○海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する映像視聴 (令和4年10月12日)	○NHK for school の映像を視聴することで、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。
2	○海洋教育講演会「南米アマゾン川に行く」 (令和4年11月1日)	○講師のライフワーク、生き方に触れさせ、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考えたり、自ら社会に参画しようとする態度を育てたりする。 (外部講師) プロカメラマン 山口 大志 氏

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

専門家による海洋ゴミ問題・マイクロプラスチックに関する講義及び体験活動を受け、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. インストラクション 海洋ごみ問題について知り、学習内容の見通しをもつ。</p> <p>2. エクササイズ カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE CARD GAME」を行う。</p> <div data-bbox="153 1218 782 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>日常生活の中で行っている行動が海の環境にどのような影響を与えているのか、海の環境を良くするための行動にはどのようなものがあるのか</p></div> <ul style="list-style-type: none">●市民意識●便利さ●技術●海洋ごみ・汚れ <p>各グループが農家や漁師、役場、工場などの 1 2 の役割を担う。4 つの側面を意識しながら、全員で海洋ゴミを減らすための行動を考える。</p> <p>3. リフレクション カードゲーム体験を通して、気づいたことをふり返り、クラスで共有する。</p>	<p>【評価】海洋ゴミを減らすために、4 つの側面を考えながら、どのような行動を取るべきかを考え、話し合っているか（観察）</p> <p>【支援】4 つの側面から取るべき行動へ助言する。グループでとどまるのではなく、クラス全体で共有し、課題解決へ迫れるように促す。</p> 

4. マイクロプラスチック問題やその課題解決のための取り組みについて知り、自然愛護への意識を高める。

5. 本時のふり返りを記入する。

【評価】カードゲーム体験を通して、身近な自然環境や今後の自分自身の行動について考えを深めているか。(ワークシート)



3. 今回の活動の自己評価

本単元では、専門家による海洋ゴミ問題・マイクロプラスチックに関する講義及び体験活動を受けることで、地域の人々が身近な自然環境を守るために様々な取り組みを行っていることを知り、環境に対する関心を高めることができた。

また、カードゲーム体験活動を行い、グループで課題解決を図っていくことで、日常生活の自分自身の行動に対しての気づきへとつながったようである。

生徒の感想にも、「自分が正しいと思った行動がよくないものだったので、正しい知識をしっかり身につけたいと思う」「浜崎海岸は年々ごみが増えているように感じる。身近な自然が人間の無関心によって汚れているのをみて、私たちにできることについて考えた。(略) 地域みんなが気持ちよく使えるために、観光に来る人が増えるようなきれいな浜崎海岸をつくりたい」という記述が見られた。

一方、各グループでの話し合いを全体へ広げ、深めることが課題として残った。今後、学年での共有・ふり返りが必要だと思われる。

4. 今後の課題

今後も、活動の一層の充実を図り、子どもたちの「生きる力」につながっていくことを目指したい。また、様々な活動を通して、児童・生徒の交流や地域との連携を深めていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記なし